

第 49 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	青木ゼミ II	チーム名	チームパパ
タイトル	ニュービジネス “シェアリング・エコノミー”		
テーマ群	a)理論・情報 d)国際経済 e)産業・企業		
メンバー			
研究計画内容	<p>IT の発展に伴いより、インターネットが広く普及・浸透してきた。このデジタル技術の発展を背景に近年大きく成長してきたのがシェアリング・エコノミーである。ブライアン・チェスキーなどが創業した Airbnb、トラヴィス・カルニックによるウーバーなど、様々なシェアリング・エコノミーが台頭している。</p> <p>しかし、類似のコンセプトが氾濫している。車を例に挙げるとライドシェア、カーシェアである。そもそもシェアリング・エコノミーとは何なのか。カーシェアやレンタカーとの違いは何なのか。シェアオフィスやシェアハウスなどにもシェアという言葉が使われているが、実際にはそれらは雑居オフィスのレンタルや共有スペース付きの住宅の別称である。</p> <p>このように世間ではシェアという言葉が独り歩きし、シェアリング・エコノミーの何が核心で、どのような経済的機能を果たしているかが非常に曖昧である。最近、損害保険大手の SOMPO ホールディングスが駐車場シェアリング・エコノミー最大手の akippa への出資を発表したように、シェアリング・エコノミーへの注目度や期待は大きい。私たちはそのニュービジネスであるシェアリング・エコノミーが成長してきた背景や、シェアリング・エコノミーの本質について研究を行いたい。</p> <p>世の中に蔓延する「〇〇のシェア」の具体的な内容を、スペース、モノ、スキル、移動、お金などについてその実態を調査する。それを踏まえて、シェアリング・エコノミーの本質と経済機能をミクロ経済学の観点から研究する。さらに、可能であれば私たちの考えるシェアリング・エコノミーの新しいビジネスアイデアを提案してみたい。</p>		